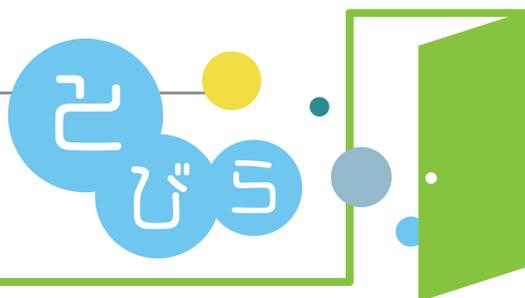


特集《対談》 — 漁業の担い手から
現場の声を聞きました —



柏崎市議会だより

ギカイの



No. 190 令和4(2022)年12月5日

今回の表紙

柏崎の漁業を支える 若手漁師の皆さん

研究会でアラのブランド化に取り組んでいます。
(場所 柏崎港)

もくじ

■ 特集《対談 新潟漁協柏崎支所》	P2・3
■ 令和3(2021)年度決算報告	P4~8
■ こんなことが決まりました、賛否一覧	P9
■ 常任委員会審査報告	P10・11
■ 一般質問	P12~15
■ ギカイのうごき	P16・17
■ 会派で政務活動を行いました	P18・19
■ 12月定例会議日程 ほか	P20



特集

〈漁業の担い手から現場の声を聞きました〉

柏崎の魚を食べてほしい アラのブランド化に挑戦

《対談》
新潟漁協柏崎支所



八十島丸 茂田井光平 さん



新進丸 澤田 輝雄 さん



第八新栄丸 壁下 哲平 さん

柏崎の漁業の特徴は？

- 柏崎の沿岸は比較的浅くて岩場も多いので、刺網が主流です。
- ごち網は、柏崎の観光PRに貢献しているマダイなどがよく獲れます。以前はたくさんの船が操業していましたが、今は第八新栄丸だけになりました。
- オリジナルの伝統漁法「桶流し一本釣り」では、高級魚のアラなどを釣ります。
- 漁師の多くは素潜り漁もやります。サザエや

もずくなど、柏崎は海の幸に恵まれています。

漁師を始めたきっかけは？

- 海や漁師が身近な環境で育ったからか、自然と興味を持ちました。
- 子どもの頃は今よりずっと魚が獲れたので、漁師の仕事やたくましさに憧れましたね。
- 柏崎では、婿養子を含めて、ほとんどが家族や親せきの船を継ぐ形で漁師になります。いきなり自分の船は持てないので、先代の船に乗せてもらうところから始めました。



ごち網で獲ったマダイ



桶流し一本釣り

漁師になってみて？

- 荒れた海にも船を出します。海の上は、一歩間違えば命を落とす厳しさがあります。
- 漁は見た目にも金額にも成果が分かりやすいので、モチベーションが上がります。
- 一網に大量の魚がかかると興奮しますね。売り上げは競り次第なので、3倍獲れても収入が3倍になるわけではありませんが（笑）
- 地球温暖化・コロナ禍・燃料高騰など、想像とは違う状況には正直戸惑います。

アラのブランド化は？

- アラは比較的どこでも獲れる魚ですが、安定した漁獲量の確保が課題のひとつです。
- 自分たちは一本釣りにこだわり、5年前に5人で研究会を立ち上げて付加価値を上げる努力をしています。
- 丁寧に処理したアラは本当においしいので、ぜひ食べてみてください！

今後の目標などは？

- 3年前に新しくした船に見合うような、一人前の漁師にならなくてはと思います。
- 魚を食べる人がいないと漁師の仕事は成り立ちません。特に子どもたちに魚のおいしさを伝えたいです。
- 今は40～50歳代の自分たちが若手なので、担い手のことが大きな課題です。
- 漁師仲間はライバルでもあり、漁の技術や情報を教え合うことはないですが、担い手を育てるためには研修も必要だと思います。

議会に望むことは？

- 今回の取材のように、少しでも漁業に関心を持ってもらえるとありがたいです。
- 漁師は魚を獲る方が忙しいので、PR活動を行うためには行政の助けが必要です。
- 新規参入でも生計が成り立つような助成制度の実現に向けて、議会からも支援してほしいです。



神経締めしたアラ



アラの刺身



漁業体験



ありがとうございました。

取材

三宮直人、星野幸彦
布施 学、相澤宗一

令和3(2021)年度決算報告

認定!



～全会計を認定しました～

10月7日の本会議において、一般会計および5つの特別会計の決算を認定しました。一般会計決算に対し3人の議員が行った討論については5ページを、予算決算常任委員会（星野正仁委員長、持田繁義副委員長）での審査については6・7ページをご覧ください。

2つの公営企業会計の決算については、9月21日の本会議において、全会一致で認定しました。

議案・審議結果



令和3(2021)年度一般会計・特別会計歳入歳出決算額と賛否

区分	歳入(円)	歳出(円)	賛否など*
一般会計	53,867,174,295	50,857,010,178	賛成22 反対2
特別会計	国民健康保険事業	8,870,368,130	賛成22 反対2
	(事業勘定)	8,552,574,746	
	(直営診療施設勘定)	317,793,384	
	後期高齢者医療	1,008,306,535	賛成24 反対0
	介護保険	9,225,618,504	賛成24 反対0
	土地取得事業	97,954,190	賛成24 反対0
	墓園事業	9,673,284	賛成24 反対0

* 真貝維義議長は採決に加わりません。



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対

決算を概観すれば、市民の福祉、暮らしの諸事業、戦略課題に使える財源はある。全体から見ても、積立金を優先したことは大きな疑問を持つ。認定に反対する大きな理由は3点。第1は市民の暮らし、営業を最優先する必要がある今日、財政運営に公平性を欠いていること。第2は、小・中学校のトイレの洋式化が、学校によって大きな格差があること。改修工事のない学校の洋式化整備率は、小・中学校平均で56%に留まっている。第3は、原子力発電所に関わる政治姿勢に絡むことだが、廃炉産業研究事業の位置付けが曖昧だ。



持田繁義

柏崎の風

賛成

賛成の立場で討論した。いまだに新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、迅速に感染症対策および地域経済の循環に努められたことは一定の効果があったものと評価する。本市の重要課題に対し専門家の知見を取り入れているがまだ成果が見られない状況であり、さらに改善が必要である。各事業において人材確保、育成が必要であり、より一層力を入れていただきたい。市民の安心・安全に直接影響を及ぼす主要事業に対し、限られた財源を有効かつ効率的に活用するとともに、適切に予算が執行されたものとして評価する。



田邊優香

社会クラブ・柏崎のみらい連合

賛成

賛成の立場で討論した。特に新型コロナウイルス感染症への対応、次世代エネルギー活用、最重要課題として子育て支援、人材育成・確保および産業振興について重点的に推進するための事業執行が認められた。人材確保については不足感のある部署や事業も見受けられるが、現場の声を聴きながら対応いただきたい。新型コロナウイルス感染症対策において、市役所が一丸となって取り組んでいる。コロナ禍にあっての着実な財政運営を評価する。



笠原晴彦

【 予算決算常任委員会での 令和3(2021)年度決算審査について報告します 】

9月20日全体会での総括質疑を経て、各分科会において、現地視察を含めて延べ7日間にわたり詳細な審査を行いました。10月6日の全体会において採決した結果、全ての会計について承認すべきものと決しました。

総務分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 布施 学
■委 員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

主な意見

- ・財務部関係で委託費の分析、総合企画部関係でワーク・ライフ・バランス推進事業の実績、次世代エネルギー活用推進事業の市民の理解および柏崎市地域エネルギービジョンとの整合性、消防本部関係で消防団員確保の取り組み、市民生活部関係でコロナ禍におけるコミュニティ活動・町内活動、危機管理部関係で原

子力災害時避難円滑化モデル実証事業の効果などについて質疑を行った。質疑に対して分かりやすい説明となるよう説明のあり方を見直す必要がある、事業成果の深掘りと検証を十分研究していただきたいとの意見もあったが、おおむね妥当な決算であるとの意見で一致した。

文教厚生分科会

■分科会長 重野正毅 ■副分科会長 白川正志
■委 員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

人材確保・育成に関する主な意見

- ・各種事業は専門職の人材確保にはつながっている。子育て環境も市民ニーズに応じており評価できるが、看護師の確保、ファミリーサポートセンター事業などの課題も残されている。
- ・介護人材の確保に向けて、介護報酬の値上げを国にしっかりと要望してほしい。

感染症対策に関する主な意見

- ・市民の生活の状況をよく把握している。これからも工夫をして、ウィズコロナ対応を進めてほしい。
- ・デジタル教育など、学びの保障を継続してほしい。
- ・ワクチン接種会場は複数会場を設置すべきではなかったか。

産業建設分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 田邊優香
■委 員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

主な意見

- ・公共施設の長寿命化に向けて維持管理されていることは評価する。
- ・宅地耐震化推進事業は、軟弱地盤の宅地に即した対応を望む。
- ・道路除排雪経費はオペレーターの人材確保が難しいが、大雪に対応できる体制を望む。
- ・商工業者に対する感染症対策関連事業は、一

定の効果があったことは評価する。

- ・柏崎産米ブランド化推進事業およびヒゲソリダイ養殖支援事業は、販路の安定性の確保を目指していただきたい。
- ・女性活躍推進事業、情報産業育成振興事業、IoT推進事業は、事業内容をさらに周知するとともに、評価の根拠となる数値を示していただきたい。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査した講案

■ 総務分科会の現地視察先



原子力災害時避難円滑化モデル実証事業の災害用
監視カメラ（上条コミセン付近）



市役所災害対策室

■ 文教厚生分科会の現地視察先



柏崎市立東中学校 改築工事現場



■ 産業建設分科会の現地視察先



国道8号柏崎バイパス（城東～鯨波間）



荒浜漁港

施策・事務事業評価に取り組みました

評価結果
(PDF)



令和3(2021)年度一般会計決算



予算決算常任委員会での決算審査において、次の主要施策について評価を行いました。評価結果を市長に提出し、政策実現に向けた翌年度以降の施策・事業の見直しなどを提案しました。

◀左から櫻井市長、真貝議長、柄沢副議長、星野委員長
(10月7日 市長応接室)

総務分科会

評価対象施策※・事務事業

地球温暖化対策を進める

地球温暖化対策推進事業、ECO2プロジェクト事業、低炭素型設備機器導入補助事業

提案内容(要旨・抜粋)

①地球温暖化対策推進事業では、市民ニーズを捉える調査を行い、環境意識の向上を定量的に測定すること。②ECO2プロジェクト事業では、制度の周知を強化し、事業の魅力を高め参加者を増やすこと。③低炭素型設備機器導入補助事業では、補助事業を進め、市内の設備機器の普及率を測定すること。

評価

B

文教厚生分科会

評価対象施策※・事務事業

教育環境を充実させる

情報機器管理費(小学校費、中学校費)、奨学金貸付事業、学校管理運営費(小学校費、中学校費)

提案内容(要旨・抜粋)

①奨学金に関しては給付型奨学金制度を視野に入れ、さらなる拡充を検討すること。②ICT支援員の増員、小学1・2年生へのタブレット配布を検討し、学校のICT活用をさらに推進すること。③教職員の業務の負担軽減をさらに図り、子ども一人一人に対し、よりきめ細かに対応できる環境整備を推進すること。

評価

B

産業建設分科会

評価対象施策※・事務事業

産業の創造性と技術力を高める

新技術・新製品研究開発支援事業、情報産業育成振興事業、IoT推進事業

提案内容(要旨・抜粋)

①国際規格認証取得支援助成金は、中小企業が事業を進める上で負担と感じない形が望ましいため、長期的に支援がされる仕組みを再考されたい。②IT人材の確保・育成に関し、産官学金の連携がさらに必要であり、量から質への新たな価値を創出していただきたい。③若者や女性の雇用創出、デジタル技術を活用した高付加価値商品の開発について、多くの企業が取り組めるように推進するべきである。ほか

評価

B

※評価対象施策は、第五次総合計画・前期基本計画の分野別施策から選択しました。

評価区分	A	B	C	D
	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務



こんなことが 決まりました

7月随時会議・8月随時会議・9月定例会議 議案審議

Pick up

子どもの弱視を検査する機器が導入されます

◎母子健康診査費

147万円

3歳児健診において子どもの弱視を早期発見するために、専門の検査機器が導入されます。早期に発見することで、早い段階で治療につながることを期待されます。

〔9月定例会議／令和4（2022）年度一般会計補正予算〕



〔出展：日本眼科医会発行「3歳児健診における視覚検査マニュアル」〕

議決した議案 



私たちは 

賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（7月随時会議・8月随時会議・9月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	村田幸多朗	笠原晴彦	秋間一英	星野幸彦	重野正毅	三宮直人	近藤由香里	田邊優香	白川正志	山本博文	持田繁義	樋口良子	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	柄沢均	上森茜	春川敏浩	星野正仁	阿部基	真貝維義	
9月21日	緊急事態に関する国会審議を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	○	○	○	○	欠(急引)	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10月7日	決算の認定について(令和3(2021)年度一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10月7日	決算の認定について(令和3(2021)年度国民健康保険事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 真貝維義議長は採決に加わりません。

令和4(2022)年9月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

8件の議案（請願含む。）を審査しました。

- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要

非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和、定年前再任用短時間勤務職員に関する事項を規定する。

主な質疑

- Q 育児休業の取得要件の緩和は、正規職員、

非常勤職員ともに関係する内容か。

- A 妊娠、出産、育児などと仕事の両立を支援するための改正である。10月1日から正規職員、非常勤職員ともに、これまで原則1回までだった育児休業を2回まで分割して取得することを可能にするなどの改正である。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

1件の議案を審査しました。

- 避難行動要支援者名簿の情報提供に関する条例

条例の概要

災害対策基本法の規定に基づく避難支援など関係者に対する名簿情報の提供に関し必要な事項を定めることにより、避難行動要支援者の生命または身体を災害から保護する。

主な質疑

- Q 条例制定の目的は。
- A 災害時などにおいて、必要な人に必要な支援が届かないことがないようにするため。
- Q 以前の名簿記載との変更点は。
- A 郵送による申請において、未同意者（返信がない方）も要支援者名簿へ記載する場合がある。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

2件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

- 市道路線の廃止について

事業の概要

柏崎8-77号線（新道-黒滝）、他6路線の廃止

- 市道路線の認定について

事業の概要

柏崎8-77号線（黒滝-黒滝）、他7路線の認定

予算決算常任委員会

■委員長 星野 正仁 ■副委員長 持田 繁義
※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第10号)など、11件の議案について審査しました。

※決算審査については、6・7ページをご覧ください。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査した議案

文教厚生分科会と総務分科会での審査を受けて、委員から、一般会計補正予算（第10号）の修正案が提出され、修正可決すべきものと決しました。

【主な修正内容】

- ・ごみ減量化・リサイクル対策費 113万9000円 → 7000円
- ・資源物リサイクルセンター管理費 354万6000円 → 0円

総務分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第10号)

- ・ごみ減量化・リサイクル対策費
(113万9000円)
- ・資源物リサイクルセンター管理費
(354万6000円)

事業の概要

佐藤池サッカーコートクラブハウスを活用した新たな資源物リサイクルステーションの開設と運営に必要な経費。

主な質疑

Q 新たに開設する理由は。

- A 松波の資源物リサイクルセンターの稼働が令和6（2024）年度までであり、代替施設を設置するまでの仮施設が臨時的に必要となるため。
- Q 体育施設としての利用の妨げにならないか。
- A クラブハウスを利用していない時間に一部のスペースを使用する。サッカーコートを利用する際に支障がないように運用する。

体育施設の一部で資源物を回収することができる法的根拠について、十分な答弁が得られなかった。

文教厚生分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第10号)

- ・子ども・子育て会議費（359万2000円）

事業の概要

子どもの貧困の実態把握について調査・分析を行う経費。

主な質疑

Q 調査目的は。

A 家庭状況により教育格差や健康格差が生じ

ないよう、実効性の高い支援策を検討するため。

Q 調査対象者と実施内容は。

A 対象は小学5年・中学2年・高校2年の子どもと保護者、5歳児の保護者の全員。国の調査項目を基に市独自の項目を追加したアンケート調査を無記名で実施する。

産業建設分科会

令和4(2022)年度一般会計補正予算(第10号)

- ・創業支援事業（600万円）

事業の概要

かしわざき創業者支援補助金、かしわざき創業者家賃補助金の増額。

主な質疑

Q 増額する理由は。

- A 制度の存在が浸透したことと、男女を問わず20～30歳代の創業者が増えていることである。
- Q 創業業種の内訳は。
- A 飲食、理・美容業が非常に多い。福祉介護事業やテイクアウト専門店などもある。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問者と質問項目 



ふるさと納税



Q ふるさと納税を活用して市税収入増加を図ってはどうか

A 雇用維持、定住促進、市民所得向上など、市税収入につながる施策を推進する

質問 ふるさと納税を活用して、雇用維持、定住促進、市民所得向上など、市税収入の増加につながる施策を推進してはどうか。

回答 いずれの施策も地域の活性化につながり、ふるさと納税寄付者からも、活用先として理解が得られると考える。来年度以降の予算編成において留意しながら、ふるさと納税の充当事業を選定したい。

他の質問 スポーツを活用したまちづくり推進のために ほか



動画でチェック

育児



Q 男性の育児休業取得の将来像

A 男性の育児休業取得が多いまちの実現は、子育てしやすいまちとなり得る

質問 男性の育児休業取得の増加は、産み育てやすいまち実現のインパクトになる。

回答 男性中心型の働き方の見直しと仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を掲げて取り組んでおり、理解は着実に進んでいる。「男性の育児休業取得が多いまち」の実現が「子育てしやすいまち」の1つの要因になると考える。

他の質問 柏崎市がめざす持続可能なまちづくり



動画でチェック

都市整備



Q 「若者・子育て世代が紡ぐ柏崎スタイル」の施策展開は

A 20年先を見据え、安心・便利・楽しいまちなかの暮らしを目指す

質問 立地適正化計画「若者・子育て世代が紡ぐ柏崎スタイル」をどう確立するか。

回答 「旧市役所庁舎跡地と駅前周辺の活用」や「歩いて楽しいまちづくりの取組」などを実施する。若者・子育て世代が中心となり、安心・便利・楽しいまちなかの暮らしを実現させるのが「柏崎スタイル」と考える。20年先を見据えて計画的に進める。

他の質問 柏崎の魅力を発信した観光戦略 ほか



動画でチェック

教育



重野 正毅

Q 不登校児童生徒
に対する公としての
関わり方

A 子どもの発達支援課が窓口
となり地域との協働やネッ
トワークの構築に努める

質問 市が不登校児へより適切に関わるための
機関の設置およびその機関の機能を充実さ
せるための民間との連携のあり方は。

回答 不登校児への支援は子どもの発達支援
課など既存の組織が役割を担っており、新た
な設置は考えていない。民間団体などとの協
働についても子どもの発達支援課が窓口と
なってネットワークの構築に努めていく。

**他の
質問** 柏崎市学区等審議会の答申を受
けて ほか



動画でチェック

観光



山本 博文

Q 柏崎潮風温泉の
方向性

A 市内民間業者が売却先を模
索中、今年の11月末に方
向性が出る予定

質問 事業者が売却の意向を示してから約半
年が経過したが、現状と方向性は。

回答 事業者と情報交換している。契約期間
内に売却先が見つからない場合は①契約更新
し売却先の模索を継続、②建物を取り壊し土
地を返還の2つの対応が考えられる。今年の
11月末までに事業者から出される申し出に
基づき、必要な手続きを取ることになる。

**他の
質問** 柏崎市の夏の観光



動画でチェック

農業のDX



秋間 一英

Q 農業分野のDX
推進はどのように進
めるのか

A 現実的な課題解決に取り組
みながら進める

質問 柏崎市DX推進計画の個別事業計画
に、農業関係の施策が入っていない。

回答 国は2021年3月に農業DX構想を公
表し、市内でもGPS対応トラクター、直進
アシスト付田植機などIoT・AI技術を搭
載した農業機械の導入実績が10件を超えて
いる。担い手確保や農地集約など現実的な問
題解決に取り組みながらDXを進める。

**他の
質問** 柏崎市デジタル予算書の次のス
テップ ほか



動画でチェック

学区再編



阿部 基

Q 統合を決定する
前に通学方法の検証
を行う必要がある

A 小学校2台、中学校5台の
スクールバスを計画してい
る

質問 小中学校の再編方針が示されたが、通
学方法は、統合決定後に検証を行うとされて
いる。課題解決のために事前に検証、公表す
る必要がある。

回答 統合となった場合、小学校2台、中学
校5台のスクールバスを運行し、停車回数を
減らして時間短縮と負担軽減を図るととも
に、教材視聴機器の搭載なども検討する。

**他の
質問** 優れた工事現場と担当技術者表
彰



動画でチェック

公共交通



布施 学

Q 鉄道の活性化について沿線自治体との連携は

A 沿線自治体をはじめ、国・県などもしっかり連携し強い気持ちで臨んでいく

質問 鉄道事業は一自治体だけの問題ではない。地方創生も考えた中で沿線自治体との連携を図っていく必要があるが、市の見解を伺う。

回答 鉄道は地域振興や経済、広域的な交通手段の観点からも非常に重要である。特に信越本線は重要な路線のため、沿線自治体・国・県と連携し強い気持ちで臨んでいく。

他の質問 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の来夏以降の再稼働 ほか



動画でチェック

放射線教育



星野 幸彦

Q 放射線教育を充実させるべきではないか

A 関係機関と連携して放射線教育を継続していく

質問 原発立地の柏崎市において放射線教育は重要である。教育をする教職員のスキルアップのため集中した養成講座などを充実させるべきではないか。

回答 教職員が放射線に関する正しい知識をもって児童・生徒の前に立つことができるよう、今後も原子力広報センターなど関係機関と連携して研修講座を継続していく。

他の質問 原子力規制委員会の審査 養育費の確保支援



動画でチェック

感染症対策



樋口 良子

Q 感染リスクが高い学校・介護施設などの定期検査が必要

A 定期的な検査の実施は考えていない

質問 感染リスクの高い学校・介護施設などの定期的な検査が必要だ。繰り返し実施を求めてきたが、ぜひとも実施すべきだ。

回答 定期的な検査の実施は理想的ではあるが、現場の負担増にもつながると考えられる。必要な人が必要な時に検査が受けられる体制は整っており、定期的な検査の実施は考えていない。

他の質問



動画でチェック

地元経済



三宮 直人

Q 柏崎が選ばれるためにワーケーションの差別化が必要だ

A まずはじょんのび村の特性を生かしたワーケーションプランを提供していく

質問 全国各地でワーケーションの取り組みが展開される中で、柏崎を選び来てもらうためには高いハードルがある。柏崎のワーケーションをどう差別化するのか。

回答 柏崎市は令和4年度新潟県ワーケーションモデル地域に選定された。温泉に加え、登山・農業・豆腐づくりなど高柳でしか体験、経験できない内容を検討していく。

他の質問 人口減少下での就業率の向上



動画でチェック

子育て支援



上森 茜

Q 多子世帯の未満
児保育の利用料の改
正を

A 多子世帯への支援は総合的
に考えたい

質問 多子世帯の幼稚園・保育園の利用料金を軽減するために、世帯の子どもの数の考え方を改正することはできないか。

回答 各世帯の子どもの数を小学校6年生までとして保育料を計算すると、歳入で5700万円という大きな額が必要となる。多子世帯への支援は、保育料だけでなく総合的に考えていきたい。

他の質問 少子高齢人口減少期における地域振興と学区の再編への課題



動画でチェック

学区再編



笠原晴彦

Q 小規模校、小規模特認校、小中一貫校についての考えは

A 小規模特認校について、現段階では考えていない

質問 保護者から小規模校を特認校で残したいとの意見があり、国も地理的要因や地域の事情等で小規模校を残す考え方がある。小中一貫校も含め、本市の可能性を伺う。

回答 小規模特認校は、県内の状況が20年前の上米山小学校と変わりなく、現時点で導入の考えはない。小中一貫校は、要望校の現員数が少なく、検討の対象にならない。

他の質問 国、県への重点項目の要望



動画でチェック

住宅耐震



持田繁義

Q 住宅の耐震化は「命を救う」事業として重視し推進を

A 住宅耐震化の重要性・必要性を周知し、国などへの要望も行う

質問 県は「事前の備えで未来は変えられる」としている。住宅耐震化リフォームは「命を救う」事業として重視し推進すべきだ。住宅関連事業の創設、補助金のかさ上げを国・県へ要望していただきたい。

回答 戸別訪問を行い、住宅耐震化の重要性を周知しており、事業は引き続き進める。かさ上げを国、県へ要望していきたい。

他の質問 柏崎市立小・中学校学区再編方針
ほか



動画でチェック

8号バイパス



佐藤正典

Q 国道8号バイパス城東～鯨波間の開通がもたらす効果と期待

A 渋滞の解消、中心市街地へのアクセス改善、災害時の避難路の充実に期待

質問 年内に予定される8号バイパス城東～鯨波間の供用開始で期待される効果と、効果的な案内看板の設置計画について伺う。

回答 現国道8号の渋滞解消により中心市街地へのアクセスが改善され、買い物、通勤などの利便性が向上する。観光客のために案内看板の設置を検討する。原子力防災避難路の強化にも期待したい。

他の質問 市民の健康を守るためのがんに対する取り組み



動画でチェック

ギカイのうごき

CHECK!

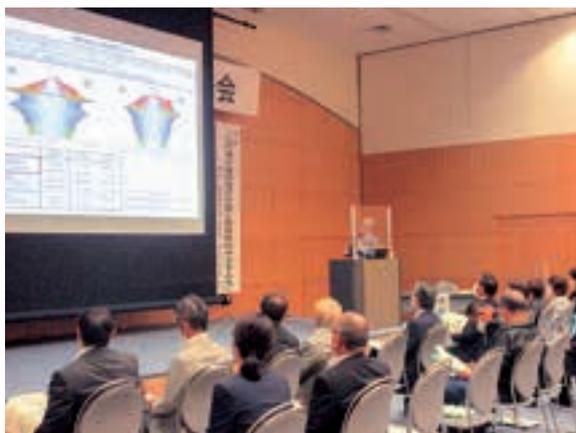
1

吉川浩民^{よしかわ ひろみ}総務省自治行政局長を講師に、市民公開で研修会 ～人口減少期の地方行政と自治体のデジタル化（DX）～

高柳町出身の吉川浩民氏を講師に迎えて9月24日に開催した議員研修会には、市民を含めて約140人が参加しました。アンケートでは、このような研修会を望む声が多数寄せられました。



講師の吉川浩民氏



研修を受ける議員（市民プラザ）

CHECK!

2

市民に理解される議員報酬のあり方を調査研究 ～議会としての考えを集約しました～

議員報酬は、平成16（2004）年4月に引き下げられてから18年以上据え置きとなっています。議会運営委員会において、令和4（2022）年4月から6回にわたり、市民に理解される議員報酬のあり方を議論しました。

8月22日には、意見集約の結果や根拠などをまとめた報告書が真貝議長に提出されました。

議員報酬額は、市長の諮問により特別職報酬等審議会で審議されます。真貝議長は、櫻井市長に報告書の概要を説明するとともに、審議会に諮問する際に報告書の内容を反映していただくよう申し入れました。

議会としては、議員報酬に関する自らの考えを、市民の皆さんに理解していただけるよう説明していくとともに、引き続き、議会改革を進めてまいります。



◀ 左から櫻井市長、真貝議長、柄沢副議長、上森副委員長、佐藤委員長（8月22日 市長応接室）

詳しくはコチラ



CHECK!

3

常任委員会のテーマに沿った調査研究の進捗状況

～ 12月定例会議での最終報告に向けて取り組んでいます～

総務・文教厚生・産業建設の各常任委員会では、所管分野の課題から調査研究テーマを決めて調査研究を行っています。令和3（2021）年12月に作成したロードマップに沿って活動を進めています。

令和4（2022）年9月までの主な活動

● 総務常任委員会 男女共同参画

- 市議会意見交換会（4月27日）
- かしわざき男女共同参画推進市民会議との意見交換会（8月19日）

● 文教厚生常任委員会 子どもを取り巻く環境の充実

- 市議会意見交換会（4月27日）
- 柏崎市小中学校生徒指導・教育相談担当者の会との意見交換会（7月6日）

● 産業建設常任委員会 産業振興と人材育成

- 市議会意見交換会（4月27日）
- 柏崎商工会議所との意見交換会（5月23日）
- 自動車・環境エネルギー産業等次世代技術研修会参加（4月28日、5月26日、6月30日、7月20日、8月8日、8月19日）

請願1件を採択しました

9月定例会議において、「緊急事態に関する国会審議を求める請願」を採択しました。

議案・審議結果



産業建設常任委員会が 現地視察を行いました

6月23日に、産業建設常任委員会が赤坂山浄水場（小水力発電所）、赤岩ダム、水のふるさと展示室を視察しました。



赤岩ダム

会派で政務活動を行いました



民友

■ 4月11日(月)～12日(火)



活動内容

- 浜岡原子力発電所視察
- 原産年次大会参加

会派の政務活動



浜岡原子力発電所の廃止措置

本格的な商業炉用発電所では国内一例目であり、原子力発電設備を解体し更地に戻す仕事である。廃止措置を地元企業に展開するには、解体作業が進む中での被ばくをいかに防ぐか、また大量に発生する廃棄物をクリアランス製品としていかに扱うかなど活用策の創出や風評に対する懸念の払拭が地元の大事な仕事になるのではと感じた。

原産年次大会

「原産」とは日本原子力産業協会のことであり、国内外の参加者とともに認識や意識を共有することを目的として年次大会を毎年開催している。今回の各分野の専門的な議論を通して、改めて原子力が備える能力と価値を最大限発揮させることが日本はもとより地域にとって重要であることを認識した。

柏盛クラブ

■ 7月22日(金)



活動内容

- 糸魚川市視察 (いといがわテレワークオフィス)
- 富山市視察 (スマートシティ事業)

会派の政務活動



いといがわテレワークオフィスの取り組み

糸魚川市では、女性の就業率が新潟県最下位であり、これを改善するために女性や若者が望む事務系やIT系のワークを増やす必要があった。そこでフルタイムが無理な方でも働ける「テレワーク」という新しい働き方を試行。現在3つのオフィスで約50名のワーカーが勤務している。多くの方が子育て中の女性であり、午前勤務、午後勤務が選択可能でワーカー相互に都合をつけるなどして、柔軟な働き方になっている。また、この取り組みが評価されIT企業の誘致を実現している。

労働人口が減少する中、埋もれた労働力を掘り起こし戦力に育て、IT企業の誘致に繋げた糸魚川市の取り組みは、女性の就業率向上や地元からの流出抑制、ワークライフバランスや働き方改革の意味から柏崎市でも生かせる。調査研究を継続する。

社会クラブ・柏崎のみらい連合

7月29日(金)



活動内容

- 三條市視察（小中一貫校における教育現場の現状、地場産業技術の内外に向けたアピール）

小中一貫校「一ノ木戸ポプラ学園」の現状

一ノ木戸ポプラ学園は一ノ木戸小学校618人、第二中学校288人を併設している、三條市としては大規模な小中一貫教育校である。学校教育目標に加えて、「まなび」「こころ」「からだ」「ちいき」といった各分野の取り組みと「一貫性」ということがキーワードとなっている。こうした教育方針により、9年間の在校期間において児童・生徒が慣れ親しんだ環境で安心して学び育つことが大きな利点となっている。今後多くの地域において、人口減少による児童・生徒の減少は避けられず柏崎市においても学校の統廃合が喫緊の課題となっている。そうした中で、三條市における小中一貫校の取り組みは、既存の校舎の効率的な活用を含め、学校運営の一つの形として、大いに参考になった。

会派の政務活動



柏崎刈羽原子力発電所の視察を行いました

10月21日に柏崎刈羽原子力発電所にかかわる調査特別委員会が、東京電力柏崎刈羽原子力発電所を視察しました。核物質防護事案の改善措置、工事未完了案件を踏まえた総点検実施箇所、構内安全対策などについて現場を確認しながら説明を受けました。



総点検実施箇所の説明(6・7号機建屋内)



質疑応答(ビジターズハウス)

12月

定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
12/4	5	6	7	8	9	10
	本会議 議案説明・質疑・付託	委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問・予備日)	委員会・分科会 産業建設	委員会・分科会 文教厚生	委員会・分科会 総務	(委員会・予備日)	
18	19	20	21	22	23	24
	委員会 予算決算	本会議 委員長報告・採決				

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



議会日程



会議録・
中継・傍聴



■ 柏崎市議会は、北朝鮮によるミサイル発射に断固抗議します

10月7日の本会議において、委員会発案で提出された「北朝鮮のミサイル発射に断固抗議する決議」を全会一致で可決しました。

決議文
(PDF)



編集後記

今年はえんま市、海の大花火大会など、例年行われていた各種イベントの多くが実施されました。その中でも海の大花火大会での「尺玉100発一斉打上げ」は感動的でした。いかがでしたか？

ようやく社会もウィズコロナの新しい段階に入り、明るさを取り

戻しつつあります。これまでの3年間で社会的にも、皆さまの生活にもさまざまな変化があったと思います。その場に留まらず、着実な歩みを進めていきたいものです。

議会広報広聴常任委員

重野 正毅

次回発行は2月5日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 三宮直人
副委員長 星野幸彦
委員
布施 学 重野正毅 田邊優香
白川正志 樋口良子 相澤宗一
若井恵子 阿部 基